

春を迎えた劔岳へ ～小窓尾根より～

メンバー：犬山L、設楽（記）

2017.5.3～5

犬山Lが温めていた今計画、ついにこの日を迎えました。

この日を目標に冬はロープワーク等も含め、様々な意味で鍛えてもらった。正直体力的にシンドイ山行も多かったですが、それが今回の山行で力になってくれた気がします。

（5月3日）晴れ 浜松＝馬場島（7時）—小窓尾根から1981mまで（15時）

集合時間0時半。迎えに来てもらったLの車で真夜中ひた走ること5時間・・・明るくなるにつれ、水田に水を湛えた美しい光景が広がる。そして高くそびえる立山の山々！

目の前に劔岳が見えるナイスビューなセブンで朝食。

劔岳を目の前に、再び車で馬場島を目指す。ホントにギザギザ・・・



計画書を警備派出所に提出し、いざ出発。気温も高めですぐ暑くなる。

メリノウールはやめて、正解。白萩川の渡渉はせずに、高巻く道を探します。

そしたら可愛らしい花があちこちに咲いている。

やっぱり花のある季節はいいな～♪（左：イワウチワ）（右：ショウジョウバカマ）



この日きつかったのは、白萩川から尾根へ上がる急登。
けっこうな角度を垂直にあがって行く。ふ、ふくらはぎが～。(悲鳴)

尾根に出たからは今日の宿営地を予定している 2260mを目指す。
時々遠くから轟音とともに土砂が流れる音がして、雪崩が発生していた。



けっきょくこの日は目的地手前の 1981m 付近で終了。

テントを設営する。

犬山Lがスノーソーを作ったということで、ブロックを作って壁を作ってくれた。

テントの中はとても温かく、調理しているときは暑さも感じるぐらいだったが、さすがにシュラフで寝ているときは寒さを感じた。



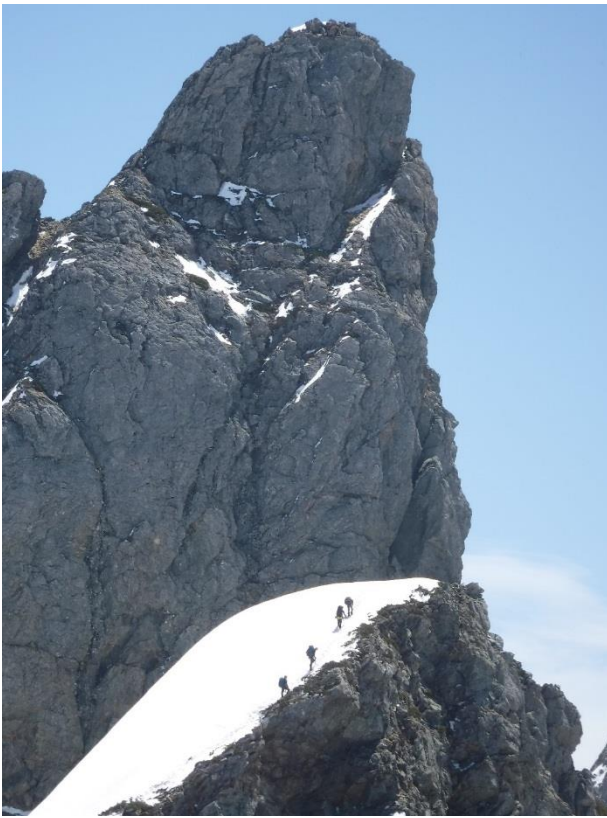
(5月4日) 快晴 1981m (5時) - 三の窓 (14時)

2時半起床。胃腸が疲れているのか朝食のこってり熊本ラーメンが、この日はきつい。スープをなかなか飲み干せず、苦戦する私を横目に余裕で完食するL。

快晴の中迎える、この日が今山行の核心部を越える日である。ちょっとドキドキ・・・

目の前には絶対足を滑らせたくない急斜面が現れる。

先行する4人組。



途中からは岩場が連続する。
初日のようにひたすら高度を上げて歩く
のはキツイが、これは変化があって楽しい。
何て言ったらって天気がサイコウ！



壮大な景色の中、地図を眺めるLが小さく見える。



今夜の幕営地、三の窓が見えたところで最後の懸垂。

ロープが足らず、2ピッチ目はロープで確保してもらいながら先に降りた私が支点を探すが、見つかったのはちょっと心もとないグラグラした支点。

しかし犬山Lが降りてきている最中にふと横を見ると、目の前にちゃんとした支点が別にあった・・・L、すみません・・・



三の窓到着。再びブロックを積み上げて、城を作り出す。景色が最高である。核心部を無事通過し、ひと安心。至福の瞬間、シュラフへ潜り込む。



富山湾に沈む夕日。

(5月5日) 快晴ときどきガス 三の窓 (5時) — 劔岳 (7時半) — 早月尾根 — 松尾平 — 馬場島 (14時半)

2時半起床。今朝もこってりした鹿児島ラーメンとうぶぷしながら闘う。胃腸を強くしたいと思う瞬間である。

この日は昨日目にしてひ~っとなった、池の谷ガリーさん。

朝早いから雪がしまってるかと思いきや、ゆるい。息を整えながら、時々足を止めながら上に出る。ここも絶対足を滑らせたくない箇所である。



上に出してしまうとここからはナイスビューの連続。
劔岳への急登を目前にし、余りの暑さにレインウェアを脱ぐ。
ここからガスが出てきて、なんと登頂した劔岳では視界ゼロ。

さくさく降りていく。
高度を下げたらガスを抜け、またナイスビューが広がる。
当初私のペースも鑑み、早月小屋でも1泊を予定していたが、今日中の下山が見えてきた！



ガスで高度感ゼロ。



しかし懸垂ポイントでまさかの行列・・・



先行者の方たちの懸垂が終わるのを待ちます。
カエルの鳴き声のような変わった声が聞こえる。求愛中の雷鳥二羽でした。



待ちきれずにバックステップで降り始めるグループも。
けっきょく抜けるのに1時間もかかってしまった。



早月尾根をひたすら下ります。くされ雪が手強かった。こけるし滑るし。
下山後はG.Wで激混みの【きときと寿司】に並び、空腹と闘いここでも待つこと1時間。すっかり胃が小さくなって、思ったよりも量が食べれず。

無事に真夜中、浜松へ帰り着きました。
犬山L、ありがとうございました！感謝です。